

# 第1課 季節と天気

## Step1 韓国の四季

3月は春とともに会社と学校の新しい一年が本格的に始まる月である。3月の中旬までは寒暖差が10度前後と大きいので、朝晩は肌寒い。また花冷えが落ち着くと、れんぎょう、つつじ、桜など春の花が咲く。桜が満開になると、多くの人々がソウルの汝矣島や慶尚南道の鎮海で花見を楽しんだりする。しかし黄砂やPM2.5が多い日もあり、外出の時は注意しなければならない。

夏は6月から8月だが、梅雨時の7月は、集中豪雨など降雨量が多い。梅雨が終わると、30度を超える真夏が訪れ、夜は眠れないほどの熱帯夜になることもある。7月末から8月初めは、避暑を楽しむ時期であり、涼しい山や海へ夏休みを過ごしに行く人が多い。

9月は朝晩涼しい風が吹き、晴れ晴れとした秋空が広がる。昔から秋は「読書の季節」、「食欲の季節」といわれているが、これは秋が本を読むに適した天気であり、収穫した穀物や果物など食べ物が豊富だからである。10月になると、紅葉や銀杏の木が色鮮やかに染まり、美しい風景が見られる。

冬は概ね晴れて乾燥しており、気温が零下まで下がりとても寒い。特に江原道地域は他に比べ豪雪に見舞われ、厳しい寒さの日が多い。三寒四温の影響で、三日は寒く、四日は暖かい日が一時的に繰り返される。冬が終わる頃の2月には、学生たちが寒さの中、卒業式を迎える姿を見ることができ

## Step2 熱帯夜

はやと：日本の夏はとても暑いでしょう？ 昨晚はよく眠れましたか？

ヘジン：ひどかったんですよ。暑すぎて何回起きたことか。蒸し暑さのせいで夜通しエアコンをつけて寝るから、朝起きたら体もだるいし頭もすっきりしないんです。

はやと：そうですね。エアコンを長時間つけておくのは体に悪いそうです。できれば扇風機を使うようにしてみてください。換気もしながら。

ヘジン：はい、私も分かっていますが、暑すぎて一日中エアコンをつけてしまいます。

はやと：実は私もそうです。ところで、韓国でも熱帯夜で眠れない日がありますか？

ヘジン：もちろんです。夜は暑いので、近場の公園に出かけて暑さをしのぐ人たちもいます。特に漢江公園や清溪川は市民が多く訪れるところですが、清溪川では足を浸けて暑さをしのぐこともできますよ。

はやと：そうなんですか？ 私は外で暑さをしのぐなんて考えたこともなかったのですが、それはおもしろいですね。

ヘジン：韓国は日本ほどじめじめしていないので、夜は家にいるより外に出かけていた方がもっと涼しいことが多いです。

はやと：夏は韓国旅行を避けていたのですが、来年の夏には私も清溪川に行って足を浸けてみたいですね。

## 第2課 呼び名

### Step1 夫は「お姉さん」、私は「おばさん」

私は日本人と結婚し、日本で暮らしています。日本は韓国と似ているところが多く、特に不便なことはありません。しかし、家族や親戚間の呼び名は韓国とかなり異なります。以下は私が結婚当初、日本の呼び名で慌てたエピソードです。

夫には私より年上の妹がいますが、その妹には中学生の娘がひとりいます。ところがその子は、ウエサムチョン(伯父さん)と呼ぶべきである私の夫に対し「お兄ちゃん」と呼んでいました。それを聞いて私は少し戸惑いました。さらに舅は姉妹が多かったのですが、夫は父の末の妹をコモ(伯母さん)ではなく、お姉ちゃんと呼んでいました。一体、家族関係はどうなっているのかわかりませんでした。それで私は舅の妹をどう呼ぶべきか困っていました。夫が「お姉ちゃん」と呼んでいたので、夫のように「お姉ちゃん」と呼ぼうとしましたが、ずっと年上の方にその言葉はどうしても出てきませんでした。それで私は仕方なく「おばさん」と呼んでいます。

夫の家族が私を呼ぶ呼び名もやはり韓国と違いました。夫の家族はみんな、私の名前に「さん」をつけて「ユンジュさん」と呼びました。私はなんだか家族ではないような気がして、特に夫の妹や姪に呼ばれた時は見下されているようで不快でした。韓国ではいくら年下であっても、お兄さんの妻には「オンニ(お姉さん)」あるいは「セオンニ(お義姉さん)」と呼ぶためです。しかしそれにはすぐ慣れて、私も「アガッシ(お嬢さん)」の代わりに、名前に「さん」をつけて呼んで、仲良く過ごしています。

日本は韓国に比べ、家族の呼び名が複雑ではないようです。しかし韓国も、今は呼び名がだいぶ変わりました。婿は本来名字にソバンをつけ「○ソバン」と呼び、嫁は「アガヤ」と呼びます。しかし最近では名前を呼ぶ人も多く、夫を「あなた」の代わりに「お兄ちゃん」と呼ぶ若い夫婦も多いです。このように変わってきた世の中でも、呼び名はきちんとしなければと思う私は、とても古いのかもしれない。

## Step2 トリヨンニム

(職場の同僚のホジュンとセヒがお茶をしながら話をしている。)

ホジュン：セヒさん、結婚生活はどうですか？結婚して働くのは大変じゃないですか？

セヒ：義理の母がまだ若いので、家事もしてくださるし結構理解があるんです。

ホジュン：そうだ！セヒさん、義理のご両親と同居してらっしゃいますよね？

セヒ：はい、こう見えても私、長男の嫁なんです。結婚していない義理の妹と弟もいます。

ホジュン：すごいですね。うちの妻だったら多分結婚しないと言っていたでしょうね。

セヒ：私、夫のことが大好きだったんです。だから同居くらい問題ないと思っていました。ところが、新婚旅行から帰ってきて義理のご両親に挨拶したときに、父が私に「アガヤ」と呼んだんですよ。「アガヤ」と呼ばれて緊張しました。

ホジュン：そうですね。嫁に「アガヤ」と呼ぶのは、その家庭で生まれ変わったという意味ですよ。そして、旦那さんの実家の家風やすべてを新しく学び、習うようにとの意味もありますからね。

セヒ：ところで義理の弟や妹の呼び名に、私はまだなじめないんです。アガッシはいいのですが、トリヨンニムはなぜなかなか口から出てきません。

ホジュン：それじゃあ、なんと呼んでいますか？

セヒ：夫が、弟を呼ぶ時は名前で呼んでもいいと言ったので「キヨンホさん」と呼んでいます。

ホジュン：うちの義理の姉も私に「ホジュンさん」と名前で呼んでいました。甥が生まれてからは「サムチョン」と呼んでいたの、私もトリヨンニムと呼ばれたことはないです。

セヒ：トリヨンニムと呼ばれたかったみたいですね？

ホジュン：はい。本当に呼ばれたかったです。義理の弟さんもきっとそうだと思います。

セヒ：本当にそうですかね。今日義理の弟に聞いてみて、呼ばれたいというなら勇気を出して「トリヨンニム」と呼んであげないといけませんね。

## 第3課 日帰り旅行

### Step1 ソウル郊外への旅行

ソウルの旅行を終え、日本に帰る日も明後日に迫ってきた。母は、明日一日は郊外へ観光に行きたいと言った。私は韓国人の友達に電話をかけ、郊外へ日帰り旅行ができることを聞いてみた。友達は、韓流ドラマの撮影地として有名な、ナミソム(南怡島)を真っ先に勧めた。しかし母は、そこが背景となった某ドラマの熱狂的なファンなので、すでに2回も訪れていた。

他の所を勧めしてほしいと言ったら、友達は、歴史に興味があるなら水原の華城を勧めたいと言った。しかし母は、水原の華城にも行ったことがあった。水原の華城は、朝鮮時代の王である正祖の一生を描いたある時代劇に登場し、有名になったところだった。母はおばと一緒にいったが、カルビもおいしく、湖公園の夜景もすてきだったと言っていた。私は友達に申し訳ないと思いながら、他のおすすめはないかと聞いた。

私は正直ナミソム(南怡島)でも水原の華城でも、母さえ良いと言うならどこでもよかった。ナミソム(南怡島)は自然の風景が美しいところで、水原の華城は世界遺産に登録されるほど歴史的に価値のあるところだからである。しばらく考えたあと、友達は旅行と言えばグルメだと言った。お米がおいしく、釜飯の韓定食とマッコリが有名な利川を勧められたとき、私はまさにこれだと思った。

また陶磁器が有名で工芸体験もできるという話に、母も興味を示した。利川はソウル都心からもそれほど遠くなかった。バスターミナルからバスで一時間半もあれば行くことができる。私達母娘は、明日の朝早くバスターミナルへ行くことにした。もし工芸体験をしたら、湯飲みを作って友達に送るつもりだ。湯飲みを受け取った友達が喜んでくれたらいいなと思う。

## Step 2 ソウルシティーツアーバスと西村

チェヒ：さとるさん、来週韓国に出張に行くと言っていましたよね？

さとる：はい。最後の日は韓国人の友達に会ったり、観光もしようかと思います。でも観光する時間があまりなくて心配です。

チェヒ：では、ソウルシティーツアーバスに乗ってみてください。チケットを買えば、その日は終日、指定の停留所で自由に乗り降りできますよ。

さとる：あ、私も聞いたことがあります。コースがよくできていて日帰り旅行には良いそうですね。

チェヒ：はい。私も外国人の友達と乗ったことがあります。とてもよかったです。その時トンイン市場というところに行きましたが、友達は特にお弁当カフェを気に入っていました。

さとる：お弁当カフェですか？おもしろい名前ですね。そこは食堂ですか、それともカフェですか？

チェヒ：食堂ですが、雰囲気はカフェみたいです。そこでは昔の小銭を買って、市場を巡りながら好きなおかずと交換します。給食トレーに小銭と交換したおかずを盛ってお弁当カフェに行つて食べます。

さとる：では、市場全体をバイキングみたいに利用できるということですね？面白そうですね。

チェヒ：トンイン市場に行ったら、西村にも行ってみてください。芸術家達が多く住んでいたところですが、昔の韓屋がまだ残っていて、町がとても素朴で雰囲気もあるんですよ。

さとる：西村ですか？北村は有名で聞いたことがあります。西村は初めて聞きます。では西村に行くには、どう行けばいいですか？

チェヒ：景福宮駅から降りればすぐに行けます。そして西村はソウルシティーツアーバスのコースにも組み込まれています。

さとる：そうなんですね。こうして話してみると、良い観光ができそうです。

チェヒ：西村に行ったら、ソウル最初の書店にも寄ってみてください。内部はカフェになりましたが、相変わらず人々が多く訪れる観光名所ですよ。

さとる：はい。トンイン市場で食事してから西村へ移動すればよさそうですね。韓国人の友達にも一緒に行けるか聞いてみます。

## 第4課 韓国の麺と餅

### Step1 韓国人が好んで食べる麺料理

韓国人は、夏はそうめんにお肉と野菜を入れて混ぜて食べ、冬は煮干しと昆布でだしを取り、温かくした麺を好んで食べる。このように韓国人が好んで食べる麺料理はどのような種類があり、また、どのような歴史を持っているのだろうか。朝鮮時代の記録を見れば、北方ではそば粉で作った冷麺が、南方では小麦粉で作ったカルグクスが発達したことが分かる。

冷麺は本来冬季の食べ物で、大きく平壤冷麺と咸興冷麺がある。平壤冷麺はそばを冷たいだしに入れて食べる水冷麺であり、咸興冷麺は、赤く和えてある刺身と一緒にヤンニョムと混ぜて食べるビビン冷麺である。1950年に起きた朝鮮戦争のときに、北方の避難民が南方に下ってきて、全国で冷麺を食べるようになった。現在は冬ではなく、夏の代表的な食べ物としてすっかり定着している。

ビビン冷麺と似ているチョルミョンは、誕生秘話が面白い。1970年、仁川の某工場で冷麺の麺を作る際、間違えて分厚くもちっとしている麺を作ってしまった。それをある食堂でコチュジャンのヤンニョムに混ぜて売り出したところ、学生達に大きな人気を得たという。そのためチョルミョンは、一般の食堂よりも海苔巻きやトッポッキを売っている軽食堂で主に見ることができる。野菜もたくさん入り、カロリーが高くないので女性にも人気が高い。

カルグクスは、小麦粉で作った生地を包丁で切るため「カルグクス」と呼ばれた。小麦粉が貴重だった時代には、小麦を収穫する7月の中旬にだけ食べられた真夏の珍味であった。夏が旬のズッキーニとジャガイモを入れて食べたが、だしに麺を入れたまま茹で、とろみがついた白いスープが特徴である。カルグクスも朝鮮戦争の折にアメリカから小麦粉が入ってきて、冷麺と同様に庶民がよく食べる食べ物となった。

味も良く、栄養も高い麺料理は、この他にも種類は豊富である。茹でた豆を挽いて作る冷たいコングクス、結婚式などお祝いの日食べたチャンチグクス、お肉やキムチを入れてコチュジャンのヤンニョムに混ぜて食べるビビングクスなどがそうである。麺料理は、昔は両班の行事や結婚式の時だけ食べられる特別な料理だったが、今は庶民がもっとも好んで食べる大衆的な食べ物として数えられている。

## Step2 パラムトックはだめです

チへ：サラさん、この間の結婚式、本当に感動的でした。

さら：お忙しい中、来ていただきありがとうございます。近いうちに引越祝いをするつもりですが、チへさんも是非来てください。

チへ：はい、行きたいです。サラさんの新居も見たいです。私になにか手伝えることはありませんか？

さら：ちょうどチへさんに聞きたいことがありました。チへさんも知っての通り、私の主人は韓国人でしょう。なので、引越祝いに来てくれたお客さんに韓国式のお返しを差し上げようと思っていますが、何が良いのか分かりません。

チへ：韓国式のお返しならお餅はどうでしょうか？友達が赤ちゃんの一歳誕生パーティーのときにお返しをお餅にしましたが、お客さんは喜んでいましたよ。

さら：それはいいですね。以前、韓国に行った時にお餅カフェで食べたパラムトックを思い出します。お餅の中に風が入っているために付けられた名前だそうですね？とてもおいしかったです、それをお返しにするのはどうでしょう？

チへ：あら、パラムトックはだめですよ。名前の通り新郎新婦が浮気をするということで結婚式の時には食べませんよ。

さら：そうなんですか？危ないところでしたね。では、どんなお餅がいいでしょうかね？

チへ：チョルピョンやペツソルギはいかがですか？チョルピョンはお花や手車の車輪の模様が押されたお餅ですが、柄が美しくお祝いの日によく食べます。ヨモギを入れると色もきれいですね。

さら：では、チョルピョンがいいですね。そしてペツソルギは私も知っています。子供の生後100日や1歳の誕生日によく食べますよね？韓国ではペツソルギで作ったお餅のケーキもあると聞きました。

チへ：サラさん、よくご存じですね。

さら：では、お返しはチョルピョンとペツソルギにします。主人とも相談してみます。

チへ：はい、そうしてください。ところで、お餅の話をしたせいか、急にお餅が食べたくなりました。

## 第5課 美談

### Step1 支援ブレスレット

人々は私が付けているブレスレットについて興味を持っていて、未だに時々聞いてくることもある。このブレスレットは韓国で留学している友達が誕生日プレゼントで贈ってくれたものである。私はアクセサリを付けるのはあまり好きではないにもかかわらず、このブレスレットの意味を知ってから毎日のように付けている。

小さい子犬のチャームがついているこのブレスレットは、捨て犬を支援する目的で作られた。ブレスレットの売上金は、捨てられた犬たちを管理したり、新しい飼い主を探すことに使われるという。このブレスレットは、大学生達が直接手作りしたもので、それは人間のせいで傷つけられた捨て犬を、もう一度人間の手で治癒するという意味があるようだ。

ネットの記事で調べてみた大学生のインタビューのなかで、「ブレスレットこそ捨て犬の問題をたくさんの人々に広く知ってもらいたい媒体」という部分に、私はとても共感した。私もやはり、ブレスレットをつけてから捨て犬も一つの命という認識をしっかりと持つようになったからである。そのため、友達が私に贈ったように、私も知人に時々支援ブレスレットをプレゼントすることもある。

支援ブレスレットについて調べるうちに、支援ブレスレットが捨て犬だけではなく、そのほかにもいろいろな種類があることがわかった。水が不足している国に井戸を作ってあげるブレスレット、アフリカの子供達を助けるブレスレット、心臓病患者を支援するブレスレット、そして絶滅危惧種の動物を知ってもらい、支援するブレスレットなど、私の知らない多くのところで慈善活動が活発に行われていた。

支援というと、みんな難しく考えがちだが、支援ブレスレットを通じてならば、少ない金額でもいろいろな支援に参加できる。支援ブレスレットは、人々の目につく柄のアクセサリなので優れた広告効果を持つ。デザインも多様であり、値段も高くないので、老若男女、自分の個性に合わせて付けられるのも支援ブレスレットの大きなメリットである。



## Step2 千ウオン食堂

テス：マヤさん、何をそんなに読んでいますか？

マヤ：はい、千ウオン食堂という記事を読んでいました。これをちょっと見てください。

テス：（新聞記事を読みながら）テンジャンスープにおかずが三つ出る。食事代を千ウオンしかとらないので千ウオン食堂という……。わあ、本当に食事代が千ウオンなんですか？

マヤ：地方のある食堂ですが、たった千ウオンだけとるらしいです。生活に苦しんでいる一人暮らしの老人達のためにあるおばあさんが立ち上げたそうです。

テス：千ウオンだけとるなら、食堂の運営もままならないと思いますが、本当にすごい方ですね。

マヤ：この食堂の話聞いた人々がお米とお野菜を支援しているそうです。若い学生から匿名の人まで十匙一飯で助け合って運営が可能になっているようです。

テス：心が温まる話ですね。ところでマヤさん、十匙一飯という言葉もご存知ですか？

マヤ：もちろんです。十匙分のご飯を集めてお茶碗一杯分のご飯を作るという四字熟語ですよ？

テス：マヤさん、本当にすごいですね。韓国の雑誌もこんなにすらすら読めて。

マヤ：まあ、おだてないでください。ところでテスさん、おばあさんがタダで食事を提供せず、なぜ千ウオンをもらっているかわかりますか？

テス：確かにそうですね。せっかく支援するならただで提供すれば良いものを、なぜお金をもらっているのでしょうか？

マヤ：タダでご飯をご馳走になると、食堂のオーナーに申し訳ないでしょう？千ウオンをもらうのは、その方々に顔色をうかがわず堂々と食事をして欲しいというおばあさんの気遣いですって。

テス：たったの千ウオンにそんな深い意味があるとは。

マヤ：おばあさんも小さい頃は本当に貧乏だったそうです。しかしタダでご飯を食べるくらいならいっそ食事を抜くと考えていたようです。

テス：やはり辛さを経験した方だからこそ、辛い人の気持ちがよくわかるんですね。

## 第6課 過去と未来

### Step1 驚くべき未来

最近の子供達にお父さん、お母さんの小さい頃の話聞かせてあげると、とんだ昔話だと言われるかもしれない。それほど世の中はとても速く変化している。自動車が発明され、人間はより遠いところまで行けるようになり、家電製品によって家事の時間も節約できるようになった。またコンピューターとインターネットの登場は、我々の生活を変化させる上で大きな役割を果たした。日々、数多くの情報が溢れ、先端技術が発展し、我々の生活はとても便利になった。

最近では、インターネットと繋がったIoT(Internet of Things)技術が登場し、外でもスマートフォン一つで家の中の家電製品を操作することが可能になった。帰宅する前にエアコンをつけて、家中を涼しくすることもでき、スーパーで買い物をしながらスマートフォンを使って冷蔵庫に何が入っているかを確認することもできる。さらに、人工知能を搭載したAI(Artificial Intelligence)ロボットが家族の話し相手になってくれたり、会社やホテルで職員の代わりに各種案内をしてくれることもある。道路では人が直接運転しなくても道路の状況を把握して走る自動運転車が行き交う。

多くの科学者が、2045年には自ら学習し、考えるAIロボットと一緒に暮らす世の中になると言う。家事は家事ロボットがやり、ペットの犬の代わりにペットのロボットを飼い、職場の上司や部下がロボットになる世の中が実現するということである。そして人間とロボットが愛し合うという驚くべき未来が待っているという。また、その時には医学の発達によりほぼすべての病気の治療が可能になり、人間の平均寿命が120歳くらいになると言う。

人間がするほとんどのことをロボットがするようになると、我々人間は何をして生きていくのだろうか？このままいくと、空を飛ぶ車に乗り、宇宙とつながったエレベーターで宇宙旅行をする日が来るかもしれない。そしていつかは鉄腕アトムが、世界平和のために地球を守る世の中になるかもしれない。

## Step2 未来の職業

息子：お母さん、これをちょっと見てください。これはロボットが描いた絵ですが、すごく高値で売れたらしいですよ。

お母さん：そうなの？最近ロボットに関するニュースが多いね。本当に世の中変わったのね。

息子：これから人工知能の時代になると、仕事はロボットが全部やって、人間は何もしなくても良くなるそうです。僕、大学に行くためにこんなに頑張って勉強する必要もなさそうです。

お母さん：本当にそうかしら。昔から、未来にはすべての機械が人間の仕事を代わりにやって、人間のやることはなくなるって言われていたのよ。

息子：最近はずべてのものを機械がほぼ作っているから、その通りですね。

お母さん：だからといって、人間のすべきことが減ったり、なくなっていないでしょう？もちろん機械のおかげで人間は楽になれたけど、やるべきことはかえって増えたわよ。

息子：確かに、昔に比べると現代の人々はより忙しくなっている気がします。お母さんの学生時代より今僕たちの勉強すべきことって増えているでしょう？就職も大変だと言うから今から心配です。

お母さん：この間新聞で読んだけど、過去 10 年間全体職業の約 20%が新しくできた職業だそうよ。その大部分が先端科学と関係する職業らしいけどね。

息子：じゃあ、僕がこれから就職する時には新しい職業もたくさんできそうですね。

お母さん：そうですね。そしてこれからは、一つの分野の専門性よりはすべての分野において幅広い知識が必要だそうよ。それで大学の専攻も統合すべきだと主張する人もいるの。

息子：それは僕も聞いたことがあります。すべての情報は AI ロボットを利用すればいいから、そんなに専門的な知識は必要ないということですよ。その代わり、道徳性に関する教育がより重要になるらしいです。

お母さん：人間に道徳性がなければ、映画のように人類に害になるロボットも作られそうだね。

息子：未来には人間のやることがなくなって楽な世の中になるかと思いきや、そうでもなさそうですね。僕は部屋で勉強でもしておきます。

お母さん：良い考えだね。我が息子がお母さんと話をしたら勉強する気になったのかしら。

## 第7課 光と風のある家

### Step1 韓屋

韓国の伝統家屋を韓屋という。韓屋は石と土、木で作られ、現在保存されている韓屋はほとんど朝鮮時代に建てられたもので、当時の慣習や生活が反映されている。韓屋を外から見ると真っ先に目に入るのは屋根である。屋根は周りの景色となじむように軒先を少し引き上げ、ゆるやかで美しい曲線を描くように作られた。軒先の曲線は、日差しの高さや角度を考慮し、夏は涼しく、冬は光が部屋の中まで差すよう、科学的に設計されている。

玄関を通過して家の中に入るとサランチェとアンチェがある。朝鮮時代は儒教の影響で男女と身分により生活する空間が分けられていた。サランチェは男性の生活空間で、お客さんをもてなしたり、学問と政治を議論する場であった。それに比べ、アンチェは、外からよく見えない家の奥に位置する女性達の生活空間で、女性はそこで家事全般を担当した。

アンチェに行けば最初に見えるのは広い庭と縁側である。庭は芝生を敷かず、光が地面に反射し、障子を通して部屋の中まで光が入り込むようにした。また庭はキムチを漬けたり、唐辛子を干すなど、広い場所が必要な仕事や、結婚式、誕生日祝いなど大勢の人を招く場所として使われた。オンドルが冬のためのものなら、縁側は夏のための場所である。前後に風通しを良くし、湿気を防ぐため床と地面の間に空間を空けて作った。縁側では祭祀を行ったりお客さんを迎えるほか、家族で集まって話をしたり食事をしたりもした。

アンチェの後ろの日当たりが良く、風通しの良いところにはチャントツテがある。ここは醤油やテンジャン、コチュジャンなどを保管する場所である。ジャンの味はその家の味で、人々はジャンの味が変われば家に災いが起こると信じていた。従って韓国のお母さんたちは、チャントツテを神聖な場所として重んじ常に清潔に管理し、家族の健康と子孫の成功のために、チャントツテの上に水を汲んできて、心を込めて祈ることもあった。

## Step2 風と光のある家

レポーター：私は今、北村にきています。今日は韓屋体験をされている外国の方を伺い、お話をしてみようと思います。こんにちは。韓屋体験は今回が初めてですか？

外国人：いいえ、2回目です。最初は安東で体験しましたが、とてもよかったのでもう一度韓屋を訪れました。

レポーター：はい、安東は伝統家屋で有名なところですよ。安東の韓屋体験はいかがでしたか？

外国人：私が泊まった韓屋はとても古い、大きな家でした。お手洗いとシャワーを浴びるところは現代的でしたが、他は昔のままでした。私は朝起きた時に、障子から差してくる日差しがとても印象的でした。そして一緒に宿泊した人たちと庭で食事をしましたが、空気がきれいで、風も涼しくてとても良かったです。

レポーター：今回体験されているソウルの韓屋はいかがですか？

外国人：ソウルには大きい韓屋がなくて少し残念でした。家主のおばさんが、ソウルの韓屋は1930年代に生活家屋として建てられたものが多く、安東のような大きい伝統家屋はどこにも見当たらないとおっしゃっていました。

レポーター：本当に韓屋についてお詳しいですね。韓国人でさえ韓屋は生活するには大変で、不便だと言いますが、もしや不便なところはありませんか？

外国人：日差しと風を感じることができて、生活の不便なことは大して問題になりません。韓屋体験は、韓国の文化を理解するにはとてもいいと思います。そして北村には韓屋を改造して作ったレストランやカフェもあって、韓屋の現代的な美しさを合わせて感じるすることができます。

レポーター：韓屋の特長について我々韓国人よりもよくご存じですね。いいお話、ありがとうございます。こんなに韓屋の美しさにどっぷりはまってらっしゃる外国の観光客にお会いしたら、私も今度の休みには伝統の韓屋で祖先の知恵を感じてみたいくなりました。以上、北村からお伝えしました。

## 第8課 生活の知恵

### Step1 旅行の荷造りのコツ

皆さんは旅行の荷造りのときに、必要ないものまで詰めてしまったことはありませんか？旅行先で必要だろうと用意して行ったけれど、結局一度も使わずそのまま持ち帰った経験は、誰しも一度はあるでしょう。また旅行の荷物が多くてカバンが上手く閉まらなかった経験もあるでしょう。どうすればカバンの限られた空間を上手に活用できるでしょうか。

このような悩みを解決するために、いくつかいい方法をご紹介します。

まず、荷造りをする前に、持って行く物のリストを作成してみましょう。リストを作成してみると、旅行先で必ず必要なものかどうかをきっちりチェックすることができます。また、必要なものを見落とすことなく用意して行けるメリットもあります。

その次は、効率的な荷造りですね？旅行の荷造りの際、最もかさばる衣類は圧縮袋を使うと効果的です。特に圧縮袋は、分厚いダウンコートや何着もの洋服を一気にまとめる時に重宝します。このとき、一日に着る上下の衣類を一緒に入れれば、旅行先で取り出して着るのも便利です。

下着や靴下のような小物は洗濯ネットに入れておくのもいい方法です。何が入っているのか内容が分かるので、必要な時にすぐに取り出して使えます。また旅行先で洗濯機を使う時にも洗濯ネットを使えば洋服が傷むのを防ぐことができます。

家族の歯ブラシは、使い捨てのビニール手袋の中に一本ずつはめておけばなくす恐れがありません。アイシャドーやファンデーションのように割れる恐れのある化粧品は、容器の中に化粧用コットンを入れておくといいです。また、小さなアクセサリーを持って行く場合は、錠剤を入れる携帯用のピルケースを利用すると便利です。

最後に旅行先でパスポートやカバンを紛失した場合に備えて、パスポートのコピーを用意すると良いです。このような情報が皆さんの旅行準備に役立つといいですね。他に自分だけの荷造りのコツがあれば、クラスの皆さんと話してみましょう。

## Step2 お酢、すごいですね

息子：お母さん、なんでこんなにたくさんレンコンを買ったんですか？

お母さん：多いだなんて。これくらい買えば、あなたのお弁当のおかずも作れるし。あなた、レンコンの煮物好きじゃない。

息子：さすが、うちのお母さんだ。

お母さん：息子よ、お水にお酢を少し入れてレンコンを切って浸けてくれない？

息子：水にお酢を入れるんですか？

お母さん：そうすれば、苦みが取れるのよ。そうだ、ついでにお水に塩とお酢を入れて卵を4つ茹でてね。

息子：卵を茹でる時もお酢を入れるんですか？

お母さん：お酢を入れると卵の殻がむけやすくなるの。男だからといって料理が嫌いになっちゃいけないわよ。最近は料理上手な男性がかっこいいのよね。

息子：はは、お母さんたら。それにしてもお酢がいろんな用途に使われますね。面白いですね。

お母さん：そうでしょう？お酢は料理のときだけじゃなくて、お掃除や洗濯の時も重宝するのよ。

息子：お酢で洗濯物ですって？

お母さん：あなた、運動する時にたくさん汗をかくでしょう？体操着は洗っても汗のにおいがあまり取れないのよ。体操着を洗って、すすぐ時にお酢を少し入れてしばらく浸けておくとおいが取れるの。お母さんもお酢を毎日使っているけれど、こんなにいろいろ使えるとは気づかなかったわ。

息子：お酢は、お料理のときにだけ使うわけじゃないんですね。

お母さん：もちろん、お母さんはストッキングを洗う時もお酢を入れてすすぐのよ。そうするとストッキングの伝線が防げるの。あとで自分の体操着を洗う時にお酢を入れてやってご覧なさい。

息子：お母さん、息子にいろいろ教えるようにみせかけて、こき使いすぎじゃないですか？

お母さん：こら！習ったら授業料を払わなきゃ！ほほほ。

## 第9課 地球村の課題

### Step1 板門店

我々は平和な世の中で、自由で幸せな暮らしができることを望んでいる。しかしこの地球村の至る所で、未だ戦争とテロが絶えず、それによって家と国を失った難民が発生し続けている。人類の歴史は戦争の歴史と言っても過言ではないほど、多くの戦争を経験してきており、韓国もやはりそのような国の一つである。

1950年6月25日、北朝鮮の攻撃により朝鮮半島で戦争が始まった。この戦争を朝鮮戦争、或いは6.25という。軍事力も弱く政治的に混沌としていた韓国は、たった三日でソウルを奪われ、国民は釜山にまで避難するようになった。国連軍と中国まで介入した朝鮮戦争は3年間続き、結局緯度38度線を休戦ラインとし、板門店で休戦協定（1953.7.27）が結ばれた。この板門店は国連軍事停戦委員会で管理しており、現在は韓国・北朝鮮の接触と会談の為の場所及び両国を往来する通過地点として活用されている。

この戦争によって朝鮮半島の全国土は廃墟と化し、産業施設が概ね破壊され、韓国は長い間経済的、社会的に大きな困難に見舞われた。もし朝鮮戦争が起きなかったら、数多くの戦争未亡人と戦争孤児は生まれなかつたらう。そして今日まで家族の生死も知らないまま、悲しく生きていく離散家族の悲劇もやはり起きなかつたらう。

休戦以降、韓国は南北の平和を願っているが、今まで大小様々な衝突が続いている。本当に朝鮮半島の平和は、単なる夢に過ぎないのだろうか。板門店近くには、北朝鮮と繋がった橋があるが、この橋を「帰らざる橋」と言う。この橋を渡って北朝鮮に行けば二度と帰って来られないということにつけられた名前である。しかし、いつか南と北がこの橋を自由に渡れる日が来るだろう。我々はその日を指折り数えて待っている。



## Step2 アフリカの医療ボランティア

後輩：先輩、医療ボランティアは無事行って来ましたか？大変だったでしょう？

先輩：行ってみたら、私たちがあまりにも知らないふりをして生きてきたなと思ったよ。

後輩：どうでしたか？話を聞かせてください。

先輩：私たちは具合が悪くなったら薬を飲んだり、病院に行くのが普通でしょう？しかしその人たちは一生、一度も医者にかからずに死んでしまう人が多い。だから平均寿命も短いし、死亡率も高いんだ。

後輩：私も行きたかったのですが、実習もあるし課題も多くて行けませんでした。韓国では見られない病気や風土病患者も多いそうですね。

先輩：そうだね。なにより栄養失調になった子どもたちが多くて心が痛んだよ。とにかく患者が多すぎて、みんな目が回るほど忙しかったよ。

後輩：治療も大事ですが、病気にかからないように予防するのがもっと大事じゃないですか？

先輩：その通り。アフリカの病気の最大の原因は汚い水だよ。汚染された飲み水のせいで病気にかかった人々が多い。飲み水さえ解決されれば、患者はかなり減ると思うよ。

後輩：あ、私もインターネットで見たことがあります。子供たちが毎日何時間も歩いて水を汲んでくるのですが、手も洗えないほどの泥水だったんですよ。

先輩：干ばつときはもっとひどいよ。今回うちの医療団と一緒に地下水の開発チームも一緒に行ったけど、地下水が溢れ出たとき歓喜の声を上げる住民たちを見てじんときたよ。きれいな水はアフリカの人々にとって本当に最高のプレゼントだよ。

後輩：本当にやり甲斐のあることをしてきたんですね。私も来年は何があっても必ず行かなければなりませんね。

先輩：そうだね、ぜひ行ってみて。毎日毎日患者も多いし、暑さや蚊との戦争も手ごわいけど、やっぱり行ってよかったと思うよ。帰り道はなぜか満たされながらも、心が重かったよ。これからはアフリカの子供たちも支援してみようと思う。

## 第 10 課 私達の作品

### 作品 1 韓国語と私

もとおか・みお

みなさん、こんにちは。私は本岡みおと申します。今日は韓国語と私についてお話します。

みなさんは何をきっかけに韓国語の勉強を始めましたか？私は 10 年前、あるテレビ番組に韓国の歌手が出て歌を歌ったのですが、その歌がどういう曲か検索したのが韓国語の始まりでした。歌詞の内容はまったく理解できなかつたけど、メロディーと韓国語の響きが耳から離れず、私は韓国の歌謡にどっぷりはまりました。

当時はアイドルに対する情報をインターネットコミュニティとファンのブログから入手しました。そしていろんなグループのファンクラブに入り、コンサートやファンミーティングにもあっちこち参加しました。韓国の歌手の活動を見るためにブログやユーチューブの動画もたくさん見ました。コンサートの司会者や韓国の番組でアイドルたちが何を話しているのか、字幕を見ないで直に理解したくてラジオの韓国語講座を聴きながら勉強を始めました。

韓国にコンサートを見に行くたびに、韓国語を理解したい気持ちになり、私も韓国語で話せたらいいなと思いました。それで学校にも通い始めました。最近では握手会などを通じてアイドルと直接会える機会が多くなり、アイドルも SNS を通じてファンと会話をしているので、スターたちは以前に比べより近い存在になりました。だからもっと一生懸命勉強しなければと思いました。嬉しいことに、アイドルに韓国語が上手だと言ってもらえるときもあります。

私は外国語と関わる経験が多い方です。小学生と中学生の時はアメリカで暮らし、大学では英文学を専攻しました。第 2 外国語でフランス語を学び、結婚した後、夫の仕事の関係で中国に暮らしていたので中国語も勉強しましたが、私がやりたくて勉強した言語は韓国語と英語だけです。なので、韓国語と英語を勉強することは辛くありませんでした。韓国語を勉強していると英語と似ている表現もあって、英語の知識が無駄ではなかったと感じました。

私は K-POP を好きになり、韓国に興味を持って韓国語まで勉強するなど、人生が大きく変わりました。辛いときはアイドルが一生懸命努力している姿を見て元気をもらいました。大事な友達もたくさんできて、私の世界も広がりました。

こうして頑張って勉強したおかげで、今はアイドルの韓国語がうまく理解できるようになりました。これからも楽しく勉強を続け、機会があれば韓国語を使った仕事もしてみたいです。ここまで私の発表を聞いてくださり、ありがとうございました。

## 作品2 二つの祖国、一つの愛 —李仲燮の妻—

かねだ・きえこ

私は力強く描かれていた牛の絵をどこかで見たことがある。大きく見開いた目がどことなく悲しく見えた。私はその牛の絵を描いた人が李仲燮さんであり、偉大な韓国の近代画家であると同時に、39歳の若さで死んでしまった不運の画家と言うことを、この映画を観て初めて知った。そして彼の妻が日本人だったと言うことも…。

この映画は李仲燮さんと彼の妻山本方子さんが過ごした歳月を、手紙と思い出の旅行で構成して作られたドキュメンタリー映画である。妻の山本方子さんは再婚せず、彼女の息子家族と一緒に現在日本で平穏に暮らしている。

李仲燮さんと方子さんは、1939年、東京にある美術学校で出会う。当時朝鮮半島は日本が統治していたが、二人は国籍の差を克服し結婚を誓う。1945年第2次世界大戦末期、方子さんは韓国に帰った李仲燮さんと結婚するため海を渡った。戦争中に一人で海を渡っていくのはどれほど怖かっただろうか。しかし方子さんの目に見える海は、韓国で待っている李仲燮さんと一緒になれる希望の海であったことに違いない。そしてついに結婚式を挙げた。私は方子さんのすごい勇気に尊敬さえ覚えた。

1950年、朝鮮戦争が起きたせいで彼等は子どもたちを連れて釜山を經由して済州島に避難した。しかし極貧生活によって方子さんと子どもたちは病気になり、日本に帰るしかなかった。その後、二人は手紙のやりとりを始めたが、その数は200通を超えた。手紙は、家族に対する深い愛情であふれていた。私は二人のやるせない気持ちを考えると胸が張り裂けそうになった。当時、韓国と日本は国交が樹立されておらず、お互いに会うことができなかった。結局李仲燮さんは孤独、そして貧しさと闘いながら栄養失調と肝炎で独りこの世を去った。そのとき方子さんは34歳だった。

映画の後半に、方子さんは久しぶりにソウルと済州島を訪ねる。ソウル美術館に展示された李仲燮さんの作品を見て、済州島にある二人が暮らした家を訪ね、懐かしい人々に再会する。そのたび方子さんは、夫の李仲燮さんに対する記憶がまざまざとよみがえる。私は今も方子さんの心の中に李仲燮さんが生きていて、これからもずっと方子さんを支えていこうと思った。

この映画を観て私は、戦争は家族と一緒に暮らしたいという特別でもない願いさえ奪っていくと感じた。そして李仲燮さんが死んだ後も二人の変わらない愛が私の心を震わせ、しばらくの間止まらなかった。この映画は私に、人生において最も大事なものが何かを教えてくれた。いつまでも心に刻みたい貴重な映画である。

### 作品3 韓国の芸能人に対するアンケート

やぐち・ひろみ

先月、某韓国語学校で勉強している学生 50 名を対象に、どういう芸能人が人気かアンケート調査をしました。その結果は以下の通りです。

アンケートに答えてくれた方の中で最も多かった年齢層は 40 代（21 名）で、その次が 30 代で 18 名でした。そして 20 代（6 名）、50 代（3 名）、60 代（2 名）の順でした。

#### 1. 韓国の芸能人が好きになったきっかけは何ですか？

芸能人が好きになったきっかけに対するアンケートには「韓国のドラマを見て」、「映画を観て」が最も多かったです。その次に「歌を聴いて」、「コンサートを見て」があり、そのほかには「母が韓国人のため」、「友達に勧められたので」などの答えもありました。

#### 2. その芸能人が好きな理由はなんですか？

好きな理由で最も多かったのは「歌がいい」、「ダンスがうまい」、「格がいい」が 10 名で 1 位、2 位は「イケメン」で 4 名、3 位は「かわいい」で 3 名でした。そして「人間性がいい」、「男らしい」という答えもありました。

「直接会ったことがありますか？（コンサート、ファンミーティングを含む）」という質問には「ある」が 31 名、「ない」が 19 名でした。「好きな芸能人のために韓国語の勉強を始めましたか？」という質問には 32 名が「そうだ」と答え、18 名は「韓国語を勉強する途中からその芸能人が好きになった」と答えました。

2004 年の「冬のソナタ」で始まった韓流ブームは 50、60 代の女性を中心に広がり始めました。韓流ブームは一時的な流行だとも言われましたが、今回のアンケートを通して韓国のドラマや K-POP が日本において大衆文化の一枠を得たと思います。

そのように考える理由としては一つ、韓国語を勉強する年齢層が 50、60 代だけではなく、30、40 代も多くこれからもっと若い世代に拡大する可能性があるからです。二つ目、人々が一人の芸能人にだけ集中することなく、俳優や歌手などいろんな芸能人が同時に好きになっているからです。

最近では K-POP のライブだけではなく、K-POP クラブまでできて人気を得ています。韓国と日本は文化的に近いため、これからより近い国になりそうな気がします。